

飲食業部会正副部会長会 議事録

日 時：令和3年11月30日（火）15時～16時

場 所：商工会議所 4階 会議室 EF

参加者：12名

【副部会長】脇山、山内、林、紅谷、小柳出、岩崎

【副会頭】水野 【事務局】山田、鈴木、白木、小栗、日高

- 議 題：1) 令和3年度 部会事業について
2) 令和4年度 部会事業計画（案）について
3) その他

はじめに、脇山副部会長より挨拶。

議題1) 令和3年度 部会事業について

事務局より資料に沿って説明。

脇 山：今年度の部会事業について意見を求める。

紅 谷：ぐるりんグルメの参加店が少ないと感じるので、もう少し参加申し込みがほしい。

小柳出：販売促進の事業については件数が多いが、なかには件数が少ない事業もあるので、小さなお店にどのように情報を届けるかが課題だと思う。

岩 崎：国や県から出てくる情報などについて、都度会議所に相談している。気軽に相談できるので有難い。つかエールなどの事業にも大変助かっているので、そのような企画を今後もお願いしたい。

山 内：つかエールについては知り合いの喫茶店もすぐに売り切れたと聞いている。飲食店の参加が149店というのは少ないと感じる。

議題2) 令和4年度 部会事業計画（案）について

事務局より資料について説明。

脇 山：来年度の計画について意見を頂きたい。

紅 谷：ぐるりんグルメの結果が出ていないので、終了後にその結果を検証して、今後の事業を検討したい。

小柳出：知り合いの飲食店も長引くコロナで悩んでいる。長期的なビジョンで将来どうし

ていくかということも大切だが、目先のこと、明日どうするかということも重要な課題。なかなか一人で解決策を考えるのは難しい。専門家派遣を活用していきたい。

山 内：以前専門家派遣を利用したことがあるが、地域のこともあまり知らず、専門家の意見が現実の店の状況にそぐわないことがあった。小規模のお店に対して、あまり難しい話をされても役に立たない。しっかりとお店に寄り添って話を聞いてもらえる専門家がいたら有難い。

紅 谷：計画案に「商業3部会合同セミナー」となっているが、飲食店に特化したセミナーがあれば良い。

小柳出：飲食店専門のコンサルなどあれば良い。

脇 山：長引くコロナで営業できない時期が続いたため、人材を手放さないといけなくなった。現在、コロナが落ち着いて営業再開しようにも人材の問題で悩む。新たに人材募集するのも費用が掛かるし、実際に募集してもなかなか集まらない。

鈴木：先日ハローワークの所長と話す機会があり、その中で65歳～69歳の高齢者の求職が増えているという話があった。飲食店が、その年齢層の方を雇う需要があるか、ご意見を頂きたい。

紅 谷：自分の店ではシニア雇用に力を入れている。働く意欲があるので採用するが、実際1日で辞めることが多い。飲食店は基本立ちっぱなしなので、それがきついうで辞めていく。

水 野：そのような年齢層の人でもできる仕事を作ることが必要になってくると思う。先ほど、卸・小売業部会に出席したが、今後飲食店は1割～2割の店舗が減ることが予想される。生き残っていくためには効率化を考えないといけないが、飲食店が生産性を上げるのは至難。それには値上げしかない。様々材料が上がっている中で、付加価値をつけて値上げする方法や施策を示していかないといけない。飲食店が利益を確保できるような支援が必要になる。

脇 山：来年度も消費を喚起するような事業を行っていきたいが、今回意見として出たような飲食店が抱える課題に対しても取り組んでいきたい。

議題3) その他

事務局より資料に沿って説明。

鈴木：来期以降に部会を再編するという案が出ている。飲食業部会と卸・小売業部会を統合して、「商業部会」とする案がある。

水 野：「商業部会」として合併すると、飲食店向けの事業をどのように行うかという課題

が残る。但し、卸・小売業の方と意見交換できるというメリットもある。どのような形が良いか、今後協議する。

水野副会頭よりあいさつ

16時終了。